

## お寄せいただいた意見や要望について

意見・要望の内容	<p>Web タイムス笠懸（学校給食の提供方式の見直し、笠懸西小学校の校区の見直し）の投稿を読み、同感した。将来社会で活躍する子どもたちの一人一人の人生において、自然豊かなみどり市で育んだ心が支えとなるよう、大人たち(特に関係者) はもう一度子ども目線に立って考え、アイデアを出し合って新設校の準備を進めて欲しい。子ども、保護者、地域と行政が一体になって進めていただくことを期待している。</p>
市からの回答	<p><b>【給食提供方式について】</b></p> <p>頂いたご意見にもございますように、小学校における教育が子供たちの心を育み、その後の考え方にも大きな影響を与えるものであると考えております。</p> <p>そのため、学校における給食についても、正しい食生活の習得や正しい食材を選択する力を身につけるため、全ての地区において、提供方式の違いによらず栄養教諭等が食育指導に力を入れているところであります。</p> <p>また、笠懸西小及び笠懸地区全体の給食提供方式については、これまで様々な検討を行ってきたところであり、その検討の過程では実食も行いながら、両方式の良さなどを確認してまいりました。今後は、これまでの検討過程や結果を保護者様や市民の方々へご説明し、ご意見を頂きながら最も望ましい提供方式の検討を行ってまいります。そのため、笠懸西小の給食については、笠懸地区全体の給食提供方式の方向性が決まるまでの当面の間、大間々学校給食センターから配送することとなりますが、ご理解を頂きたく存じます。</p> <p>なお、学校給食は子供達にとって楽しみな時間となります。その子供達が、安全安心で美味しい給食を楽しく食べることができるよう環境となるよう、保護者様や地域の方々と一緒に検討を継続してまいります。</p> <p><b>【校区および通学路について】</b></p> <p>令和4年4月に開校予定の笠懸西小学校につきましては、校区や通学路等のことをご心配をおかけしております。</p> <p>はじめに、笠懸西小学校の学区決定の意図及び経緯につきまして回答させていただきます。笠懸西小学校の学区は、笠懸小学校の学校規模適正化を図り、一人一人の児童への指導、支援を一層きめ細かく行うことのできる教育環境の実現を目的に、平成27年度から平成28年度にかけて7回に渡り笠</p>

懸小学校地区代表者会議での検討を重ね決定したものです。

そこでは、現在の学区（8区西、9区、10区）を含む4つの学区案（A～D案）について地区代表者一人一人が評価を行いました（その中で現在の学区はC案でした）。具体的には、それまでに笠懸小学校区内の各行政区で行った地区住民説明会や会議で出された意見を基に、「学区案選定審査表」を作成し、8つの視点において点数化する形式で審査したものです。

また、8つの視点は、①学校規模 ②通学の安全確保 ③わかりやすい学区 ④中学校への進学 ⑤地域コミュニティー ⑥まちづくり ⑦笠懸町内4小学校の将来的な配置バランス ⑧財政負担の8つとなっております。

審査の結果、最も評価が高かったC案を笠懸西小学校の学区として決定した次第です。C案の特徴としては、地域コミュニティーへ影響を与える可能性が少ない点が優位であることなどがあげられます。

なお、各案の内容や検討の詳細につきましては、市ホームページに掲載しております。

**【市ホームページ掲載場所】**

[トップページ](#)>[組織から探す](#)>[教育部](#)>[教育総務課](#)>[笠懸小学校の規模適正化に向けた取り組み](#)

次に、笠懸西小学校の通学路案につきましては、笠懸小学校PTAとの話し合い、教育委員会職員による現地確認、交通量調査、笠懸小学校の旗振り箇所での保護者からの聴き取り等をもとに教育委員会が作成したものです。また、笠懸町9区の国道50号横断後の通学路につきましては、区長をはじめ地元関係者の皆様のご意見も参考にさせていただきました。

さらに、今年7月中旬に笠懸小学校の全ての保護者を対象に通学路に関するアンケート調査を実施し、8～10区の保護者からは笠懸西小学校までの通学路や旗振り箇所等に関するご意見をいただきました。その後、7月下旬から8月上旬にかけてアンケート調査の結果をもとに地区ごとの意見交換会を行い、PTA地区委員や各登校班の代表保護者の皆様からご意見を伺ったところです。今後は、そうしたご意見を踏まえ最終的な通学路を決定していきたいと考えております。

続いて、主に笠懸町9区の通学路の具体的な安全対策についてご説明いたします。国道50号の横断につきましては、「前鹿田」、「前鹿田（西）」、

「杉菜原」の3箇所の交差点を想定しており、信号待機場所の確保や歩行者用信号機の横断時間の延長等の要望を警察や国に対して行っているところです。その上で、歩行者用信号機の横断時間延長につきましては、他の信号機との連動性や道路状況を踏まえた上で対応していくこととなっております。また、待機場所確保については、一部交差点へのガードパイプ等の設置を計画しております。

そして、国道50号横断後は、朝夕の交通量や県道（笠懸赤堀今井線）での信号機の設置箇所等を勘案した上で、9区公民館西側から県道の信号機（手押し式）までの市道を主な通学路として想定しております。安全対策としては、市として、路肩（道路西側）へのグリーンベルト設置と可能な箇所からの路肩拡幅を計画するとともに、横断歩道の新規設置、30km/hの速度規制を警察に要望しております。さらに、児童が県道をより安全に横断できるよう、信号機（手押し式）の移設を行うとともに、待機場所の確保について検討してまいります。

以上が笠懸西小学校の笠懸町9区の通学路の主な安全対策です。現時点では目に見える形に至っておりませんが、何卒、ご理解くださいますようお願いいたします。

なお、警察への要望事項につきましては、開校までに確実に実現できるよう、引き続き、群馬県警察本部及び桐生警察署との調整を緊密に進めてまいります。